

# 研修だより

No.1

## 年度初めに ☆ご確認ください☆

・今年度来られた先生方は研究部クラスルームに参加してください。

→クラスコード「」

### ①サブ黒板の使い方について

メインの黒板の右側にあるサブ黒板の使い方を、以下のように全学級でそろえます。

「ふりかえりのわかめ」「学び合う発表」  
昨年度の研修での取り組みです。今年度も継続して取り組んでいきましょう。



「学習のきまり」「おびひろ市民学」  
※教務より



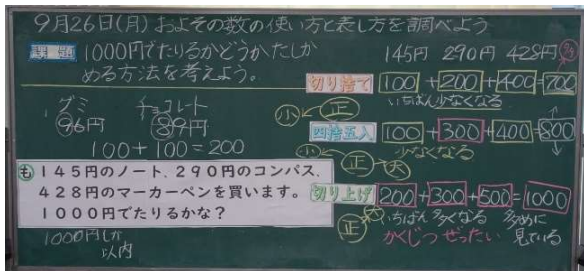
道徳の4つのテーマ  
道徳の授業で使います。(裏面参照)  
教育課程の別葉にテーマ別の一覧があります。



下半分は、学年・学級で自由に使って下さい。日付や委員会からの連絡を掲示したり、各学年の学習の足跡などを掲示したりしているクラスも多いのではないかと思います。

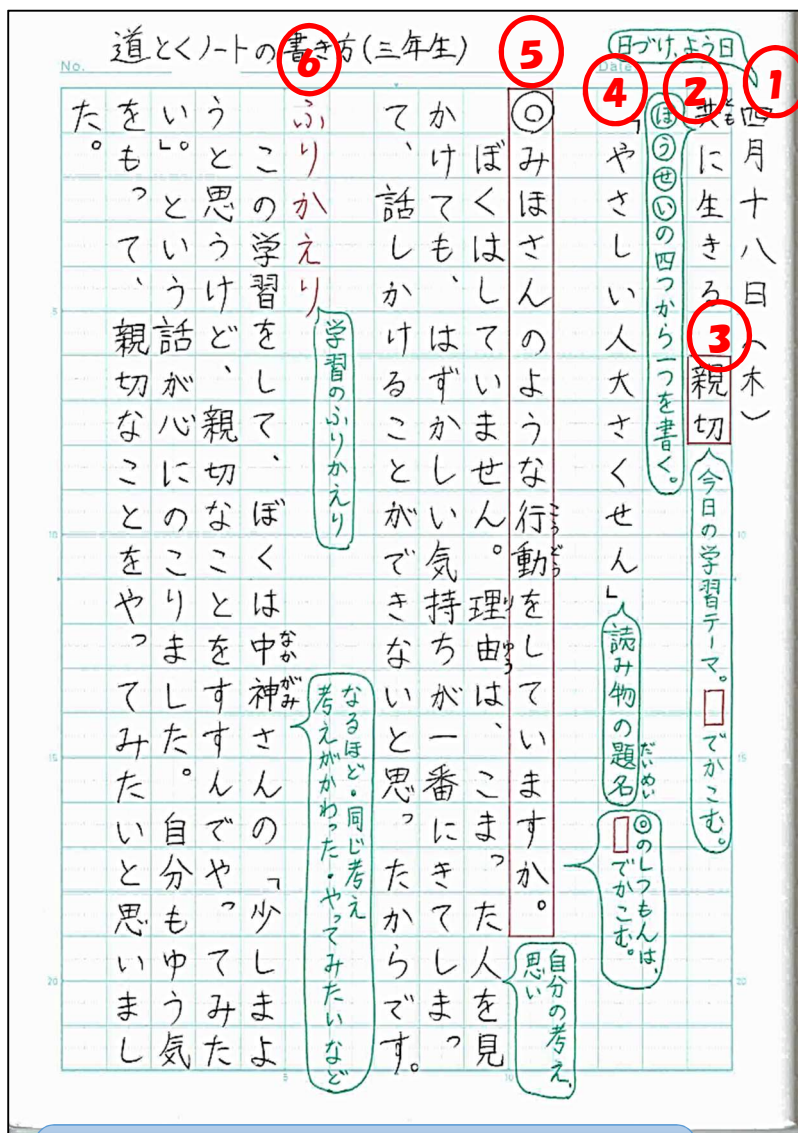
## ②黒板の使い方のきまり

- ・日直や、「今日のめあて」等、学習に関係ないことは書かない。
- ・ネームプレート等を常に掲示しておかない。



## ③道徳について

豊成小学校でこれまで続けてきたノートの書き方です。道徳ノートは例年ですと、中学年から道徳ノートを使用することが多いようですが、学年の実態に応じて活用していただけたらと思います。



- ①日付
- ②豊成4つのテーマ
- ③学習テーマ(赤で囲む)
- ④資料名
- ⑤中心発問(○と赤で囲む)と自分の考え
- ⑥振り返り(理由も)

基本的に、①～⑥は書くようになります。その他にも、導入の発問等で自分の考えを書くこともあります。

こういったノートの手本を印刷して配付し、表紙の裏に貼り付けさせることで、いつでも確認することもできます。

5mm方眼のノートを使用しています。

板書の例です。

★道徳の教科書の挿絵は、

「03\_共有」→「!学年教材フォルダ」→「○学年」→「道徳」 にあります。

★昨年度配付し、活用してもらったラミネートカード➡



子どもの考えや発言を掲示する際に、今年度もご活用ください。道徳に限らず、様々な教科で使用できます。昨年度のものをお持ちの先生は、そのまま使ってください。新しく必要な先生は、後日作成しお知らせしますので、ご自由にお持ちください。

豊成小学校は、数年前まで道徳の研究を行ってきた経緯があり、昨年度までも継続して統一した指導を行ってきました。今年度は5月に、道徳のスペシャリスト阪本先生による学習会を予定しています。これまでの豊成の道徳のよさも生かしながら、新たな視点を学び、授業づくりができれば…と思います。

## ④授業参観～虎の巻～

「授業参観の基礎の基礎」です。「授業は誰のもの？」という視点で、再度確認して下さい。

<p style="writing-mode: vertical-rl; text-orientation: upright;">自分のため！</p> <p style="writing-mode: vertical-rl; text-orientation: upright;">授業を見るのは</p>	<p>①「自分の力量を高めるために」見せてもらう、ということをお忘れなさい。</p> <p>「主体的に」見るということです。「授業を見れば、何かためになるかもしれない」という受動的な気持ちでなく、「この授業を見ることで、授業を行う力をもっと伸ばしたい」という気持ちをもつことです。</p> <p>②一つでも多くのことを盗む。</p> <p>「自分の授業に使えること」を一つでも多く探しましょう。後から実際に真似てみるのも大切です。ただし、個性の違いがあることから、自分らしさを上手く生かしながら真似できることを取り入れましょう。</p> <p>③「自分ならどうするか」を考えて見る。</p> <p>どの授業も「完璧」ということはありません。「自分ならこうしたい」という点も押さえましょう。授業を参観することで、自分の方法が間違っていることにも気づくこともあります。よい点だけでなく、改善すべき点も考え、自分の授業に生かしていきましょう。</p>
<p style="writing-mode: vertical-rl; text-orientation: upright;">マナー集</p> <p style="writing-mode: vertical-rl; text-orientation: upright;">授業を参観するときの</p>	<p>①授業に割り込んで入らない。</p> <p>参観者は本来その授業の中にはいないはずの人間です。例えば授業者が手間取っていても、それに手を貸すのはおかしなことです。ちょっとしたフォローも行ってはいけません。授業者の言動すべてが授業なので、良かれと思っても、助けないのが礼儀です。</p> <p>②児童に勝手に話しかけない。</p> <p>ときに勝手に児童に話しかける光景を見かけますが、これもおかしなことです。邪魔にならないように児童の様子を見て歩くことはかまいませんが、児童の活動を止めたり、思考を変えたりする言葉をかけるのは考えものです。その言葉がけで授業の展開が変わってしまいます。声をかけた先生もT2になってしまいます。注意しましょう。</p> <p>③私語を慎む。</p> <p>授業を見て気づいたことをすぐに他の先生と話す光景を見かけます。児童は私語が禁じられているのですから、教師も同じです。</p> <p>④感謝の意を表す。</p> <p>授業を参観したら、授業後に必ず感謝の意を表しましょう。「お疲れ様でした。」という一言ではなく、授業の中でよかったことは付け加えたいものです。児童に対してはよい点を探そうと努力するのですが、同僚である教師を誉めることは少ないのではないのでしょうか。改善すべき点については、事後研や授業アンケートで話し合えばよいのです。第一声は誉め言葉にしたいものです。</p>

感謝の気持ちと、授業者に敬意をはらうという意味で、校内授業研では参観される先生方も服装にご留意ください。（日常実践交流やプレ研を除く）

授業開始の時刻に遅れないことも大切です。チャイムの前に入室をしましょう。

